Japan Geoscience Union Meeting 2015
(May 24th - 28th at Makuhari, Chiba, Japan)
©2015. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

HGG21-08 会場:101A 時間:5 月 27 日 16:15-16:30

中央ケニア、半乾燥Laikipia平原牧畜地域の自然地理学的土地条件
Physical geographic land condition of livestock areas in the semi-arid Laikipia Plateau, Central Kenya

大月 義徳 [1*] ; 上田 元 [2] ; KAUTI Matheaus K.[3] ; 柳瀬 咲子 [1] ; 佐々木 明彦 [4]
OTSUKI, Yoshinori[1*] ; UEDA, Gen[2] ; KAUTI, Matheaus K.[3] ; YANASE, Sakiko[1] ; SASAKI, Akihiko[4]

[1] 東北大学大学院理学研究科, [2] 一橋大学大学院社会学研究科, [3]South Eastern Kenya Univ., Kenya, [4] 信州大学山岳科学研究所
[1]Graduate School of Science, Tohoku Univ., [2]Graduate School of Social Sciences, Hitotsubashi Univ., [3]South Eastern Kenya Univ., Kenya, [4]Institute of Mountain Science, Shinshu Univ.

本発表は、中央ケニア半乾燥牧畜地域の、主として地形学的土地条件を明らかにするとともに、当該地域の土地利用および土地環境認識に関する予察的報告を行うことを目的とする。調査地域は Laikipia County (District) 東部に位置し、標高 1,800 m 内外 (1,750-1,850 m)、年降水量 300-400 mm 程度を示し、概して寡植生である。調査地域周辺の地質はモザンビーク帯の片麻岩、珪岩等、地形としてインゼルベルグ－ペディメントが卓越し、ペディメント最上部にはシートウォッシュ堆積物（層厚 5 m 程度）が存在し、またインゼルベルグ末端付近の緩斜面上には、深さ 10-15 m 程度の頭部に端を発するガリーが頻繁にみられる。これらのガリー頭付近では、流路上に遷急－遷緩点の繰り返しが多数視認され、またガリー深が（ガリー上端）幅の数倍に達する流路区間がしばしば認められる。こうした点から、当ペディメント最上部において、集落立地箇所も含めて、現在活発な浸食域が卓越していると推察される。

キーワード: 半乾燥地, ガリー, 土地条件, ケニア
Keywords: semi-arid area, gully, land condition, Kenya